

地域づくり協議会だより

編集発行：元総社市民サービスセンター(公民館内)

元総社地区地域づくり協議会 広報委員会

☎〇二七―二五一―二二四三

2020(令和2)年
3月発行(第10号)

みんなで築く元総社

地域づくり協議会

会長 阿部明雄

地域づくり協議会も、平成二十一年の発足から十年になりました。

少子高齢社会の中で、人生百年の時代、健康寿命を延ばしながら楽しい人生を過ごすことが求められています。

本年度も、協議会では、みなさんのご協力とご指導をいただきながら、「歴史伝統」、「安全安心」、「福祉・交流」の三部会を中心に、交流と学習など多くの人たちとの親睦を図りましたので、その成果の概要をご報告します。

また、十年の節目を迎えて、この実績を基に、更なる地域づくり事業を展開してまいります。

近年の温暖化による異常気象の中、日々の安全な生活への対応をはじめ、高齢者の生活支援体制の制度化や地域福祉の交流を深めるとともに、地区の豊かな歴史を基に、これを継承しながら新たな文化の創造など、多くの対応が求められています。



令和元年度総会での阿部会長挨拶

これからも「住んで楽しい元総社」、「ずっと住み続けたい元総社」を目標に、私たち一人ひとりが、楽しく元気な地域づくりを実現していきましょう。

○地域づくり協議会役員・参与

前列右から

- ・津田正壽(監査 安全安心部会部会長)
- ・近藤隆彦(参与 安全安心部会副部会長)
- ・近藤輝久(副会長 歴史伝統部会他)
- ・阿部明雄(会長)
- ・設楽正治(副会長 広報委員会委員長他)
- ・金井 肇(参与 安全安心部会副部会長)
- ・水野 渉(参与 安全安心部会副部会長)

後列右から

- ※市川和広(参与 歴史伝統部会副部会長)
- ・松田 實(参与 歴史伝統部会部会長)
- ・松村 隆(参与 福祉・交流部会副部会長)
- ・深町 哲(監査 福祉・交流部会部会長)
- ・女屋勝男(参与 福祉・交流部会副部会長)
- ・齋藤一夫(書記・会計 歴史伝統部会副部会長)

💡地域づくり協議会ミニ情報

「地域づくり協議会」は、前橋市の地区ごとにあります。

私たちの「元総社地区地域づくり協議会」は、平成二十一年六月に発足。今年で十年です。

一 会の目的は？

地域における支え合いや自主・自立性の強化を図りながら、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めることです。

二 事業の進め方は？

総会で、事業全体を協議した後、
①歴史伝統部会、②安全安心部会、
③福祉・交流部会の「3部会」に分かれ、具体的な事業計画を吟味し、実施しています。

三 事業推進している方は？

元総社地区の自治会や団体から推薦を受けた企画運営委員と自治会長を含めた七十三名が中心となり行っています。



※写真後列、右側一番目の賀川光夫氏は、市川和広氏の代理者

歴史伝統部会

◆今年度実施した主な事業

一 伝統芸能活動の紹介と支援

地域の伝統芸能の魅力を広く知ってもらいたい、大切にしてもらいたいと、次の三つの団体への活動支援を継続しました。(一団体二万円)

○大友町百万遍保存会

○元総社上宿町獅子舞保存会

○総社神社太々神楽保存会

今年も、元総社地区文化祭で、その装い、動き、響きやリズムなどに、多くの方が魅せられました。



大友町百万遍保存会による「大友百万遍」



総社神社太々神楽保存会による「神楽」



元総社上宿町獅子舞保存会による「上宿獅子舞」

二 歴史・文化ウォーク

実施日 十月二十七日(日)

「東山道(奈良時代、中央と地方を結ぶため政治的に造られた国道の一つ)と鳥羽町の歴史・文化」をテーマに実施、三十九名で楽しみました。中でも、鳥羽町東部自治会の協力により実現した、総社神社のお祭りに奉納しているという「鉾」の姿は、正に圧巻そのものでした。



鳥羽町東部自治会の宝「鉾(ほこ)」

三 郷土かるた大会

実施日 二月二十四日(月)

小中学生・高校生以上・六十歳以上の三世代・三人が一つチームとなり熱戦を繰り広げる今年度の大会は、インフルエンザの猛威により延期となっていましたでしたが、改めて開催し十四チームが参加、激戦の中、大友町Bチームが優勝しました。

当部会は、二十三名の企画運営委員で活動してまいりました。当初は、手さぐり状態での発足でしたが、多くの方々のお力添えと、部会員の皆様のご協力を得て、本年度の各事業を進めることができました。

歴史・文化ウォークでは、大福寺ご住職の講話、東山道についての講座の他、地元、鳥羽町の皆様のご協力で充実したものとなりました。

新年度も、各事業を計画、実行していきたいと思っておりますので、積極的な参加をよろしく願います。

○今年度の活動を振り返って

部会長 松田 實



優勝は、大友町Bチーム



大会の様子

安全安心部会

◆今年度実施した主な事業

一 リーダー研修会

実施日 八月二十五日(日)

「いざい」の際、率先して対応できるように三十名が心肺蘇生やAEDの使用法等の救命救急技能を西消防署で学びました。



防災訓練(心肺蘇生訓練)の様子

二 地区防災訓練

実施日 十一月二十四日(日)

「いざい」に備えて、行動できる力を身につける」をテーマに、地域の消防団と女性防火クラブと連携・協働し、総勢百七十二名による十三自治会合同の訓練を元総社小学校で実施しました。

初めは、本市で発生した大雨避難時の状況、避難勧告時の行動、他市

の避難所設置後の生活の様子などを盛り込んだ映像を入れた防災講話。その後、防災倉庫の資材等運び出しての点検・組立・稼働確認や、煙中避難訓練、消火訓練などを行いました。また、地域を守るその姿や訓練の様子を知るため、元総社地区を守る消防団に放水訓練を行ってもらいました。



防災倉庫から運び出した資材・機材の点検と使い方などの説明

三 青色パトロール活動支援

「ちいきとこどもをまもるパトロール隊」の日々の活動への感謝と支援の思いから、活動助成金(三万円)を継続しました。



水消火器による消火訓練



煙中避難訓練



防災倉庫内の資材・機材運び出し

四 各地区が実施する安全安心な暮らしを守る事業支援

実施地区には、報告書に基づき、一万円を交付しています。

○支援する事業例

- ・ 防災講習や防災訓練
- ・ 救命救急や応急手当訓練
- ・ 防犯講習
- ・ 交通安全講習

○今年度の活動を振り返って

部会長 津田 正壽

安全安心部会は、防災、防犯、防火、交通安全など、活動の対象範囲は多岐に亘っております。

今年度の活動は、昨年度に引き続き、地域の安全安心に大きく関わる「救命救急の技能修得」、「防災訓練」、「青色パトロール活動支援」の三つについて活動しました。特に、防災訓練においては、指定避難所である元総社小学校を借用して実施しましたが、昨年の訓練結果を踏まえ、部会員の役割分担や訓練のメニュー、時系列などを再検討して実施しました。結果、参加意識の醸成と所期の目的である地域全体の防災意識高揚に寄与できたものと思えます。

福祉・交流部会

◆今年度実施した主な事業

一 三世代スマイルボウリング大会

実施日 七月七日(日)



元総社小学校校体育館が熱気と歓声に包まれる中、二十四チームが接戦を繰り広げ、優勝は上石倉Bチーム、ベストスコア賞は4区Bチームが獲得しました。



第5回大会優勝：上石倉Bチームの皆さん

三世代スマイルボウリング大会は、毎年度、体育推進委員会の全面的な協力を得て開催しています。

二 各地区の在宅高齢者ふれあい交流事業推進支援

市社会福祉協議会が推進支援している「ふれあい会食サービス配分事業」だけでなく、「いきいきサロン」や「三世代交流事業」の推進を支援するため、七月に、助成金を交付しました。(各地区二万五千元)

三 生活支援体制整備事業「地区研修会」への参加

市と市社会福祉協議会では、「住み慣れた地域で安心して暮らせるように」をテーマにアンケート調査や勉強会を各地区で実施しています。

これを受け、元総社地区でも地区社会福祉協議会が中心となり研修会や意見交換などの取り組みを始めています。部会でも、八月三十日(金)に開催された研修会に参加しました。

この研修会は、自治会長、民生委員児童委員、保健推進員、老人クラブ連合会の皆さんなど約八十人が集まり、意見交換も併せ行われました。



8月30日に開催された研修会の様子

今後も、理解を深めながら、協力していきます。

○今年度の活動を振り返って

部会長 深町 哲

家族との絆や、地域における支え合いの精神や交流が深められ、誰もが安全に安心して暮らせる地域づくりを目指し、三世代が交流を深める「三世代スマイルボウリング大会」の開催や、各地域の「在宅高齢者ふれあい交流事業」の支援などに取り組んできました。

団塊の世代が七十五歳以上となる二〇二五年問題の解決には、対応すべきたくさん課題があります。部

会でも、生活支援体制整備事業の充実を図るために検討を進めています。

💡総会・全体会議

◎今年度の事業計画・予算などを協議する「総会」は、五月二十三日(木)に元総社公民館で開催しました。

各部会で実施した事業の共有と翌年度につなげるための意見や提案・情報の交換を行う「全体会議」は、新型コロナウイルスの感染予防のため延期としました。

編集後記(広報委員会)

委員長 設楽 正治

令和の時代になり、昭和を長く生きた者として懐かしく思うと同時に「昭和は、遠くなりけり。」を感じます。さて、地域づくり協議会も発足十年を経過し、「地域づくり協議会だより」も今回十号の発行となりました。より親しみをもっていただけますよう、写真を大幅に増やしたり、ミニ情報欄を設けるなどしました。これからも、よろしく願います。